

Supported by



重度重複障がいのある方の GHの開設と運営の課題

～実践から見えてくる障壁と課題～

(一社)全国肢体不自由児者父母の会連合会

【重度障害者対応共同生活援助の支援体制の在り方調査】最終報告会

令和3年2月20日(土) 13:00～16:00

(社福)伊達コスモス21
理事長 大垣勲男

本日本話しさせていただくこと

1 北海道伊達市における実践の概要と暮らしの様子

2 施設整備上の課題と改善要望

3 運営上の課題と改善要望

伊達市 地域支援マップ

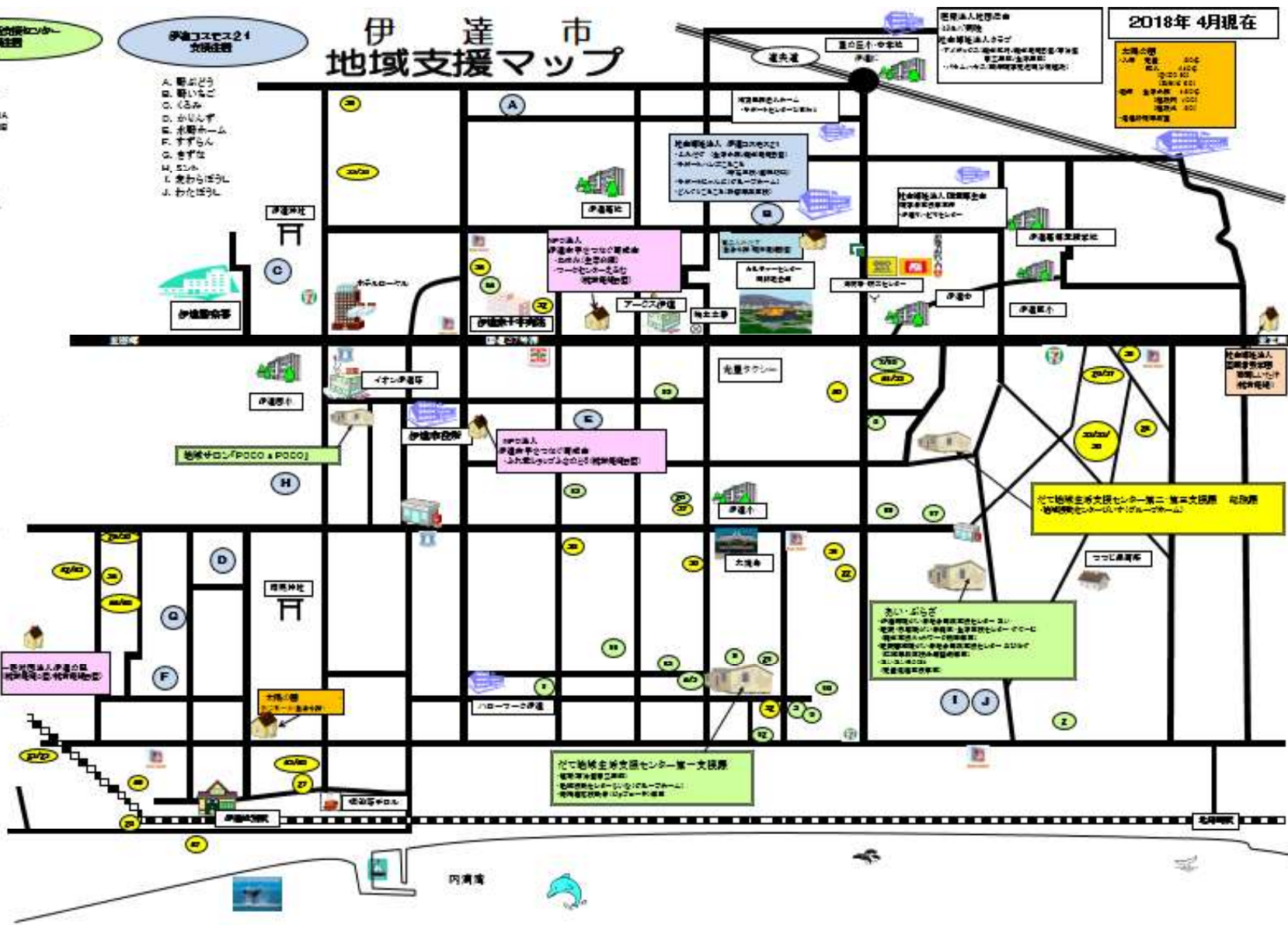
2018年4月現在

だて地域生活支援センター
支援施設

伊達コスモス24
交換店舗

- 1 倉庫ハイブ
- 2 岩井ホーム
- 3 コーナ 鶴
- 4 コーナ 文和
- 5 コーナ 文和
- 6 さくら
- 7 シルクス
- 8 たんぽぽ
- 9 ハイパースタ
- 10 岩井ホーム
- 11 北星
- 12 マンション 鶴
- 13 みらい
- 14 文和のほし
- 15 れんこん
- 16 あさみ
- 17 アップル
- 18 すばる
- 19 つばき
- 20 パレス
- 21 ベネッセ
- 22 めいぶる
- 23 いしずえ
- 24 ホネット
- 25 すずかけ
- 26 えびす
- 27 年輪
- 28 はまなす
- 29 花巻
- 30 みるく
- 31 岩井ホーム
- 32 むく
- 33 みどり
- 34 かん
- 35 ぽい
- 36 さな
- 37 せし
- 38 みるく
- 39 ほのか
- 40 もとま
- 41 岩井ホーム
- 42 のぞみ
- 43 舞鶴
- 44 青い
- 45 スター
- 46 スター
- 47 みずほ
- 48 スマイル
- 49 やまこ
- 50 あさひ
- 51 志すな
- 52 舞
- 53 ひまわり
- 54 ほほ
- 55 こはく
- 56 春あ
- 57 手レンジ

- A. 鶴がどう
- B. 鶴いんご
- C. くるみ
- D. かりんず
- E. 水戸ホーム
- F. すずらん
- G. きずな
- H. エント
- I. かわらばし
- J. わたばし



重度重複障がいのある人との出会い・・・

- 法人設立の前々年(H11)・・・

- SKさんの母親たちとの出会い

「福祉の町伊達のノーマライゼーションは本物なんですか？」

「伊達でお腹をいため、伊達で産んだ子ですよ・・・」

「伊達にも室蘭にも養護学校があるのに入学させてくれない・・・、札幌や夕張でもガマンします・・・でも・・・」

「私達の子供には養護学校卒後に通う場もない、住まいもないのです！」

難しいことはシンプルに考えるべし！

- 親は看護師でもないし、介護福祉士でもない・・・
- だけど、重度重複障がいのある我が子のプロ・・・
- 養護学校でやれて、私たちにやれない筈がない！
- やれないとしたら制度と金の問題か・・・



**そう考えたら
やれそうな
気がしてきたぞ！**

まずは、住まい(GH)の準備

- GH「あさひ」(H11開設)を改修(252万)・・・

玄関スロープ、14畳の土間コン工場を床上げ、上下する車椅子用洗面台、居室に身障トイレを建設会社・・・利益無し、今後こういうホームが増えるだろうから・・・勉強、勉強

- 伊達で初めての夜間支援体制をとったホーム、日本で初めて精神の利用者が知的のGHを利用したホームに今度は重度重複の利用者を

- 知的障がいの人たちとの融合は・・・

真駒内養護学校3年次(H14年)・・・夏休み、冬休みの帰省時にお茶・食事に親子を招く・・・

知的障がいのある入居者達が、まるで弟分のように気を遣ってくれた・・・

重度重複障がいのある方の通う場と暮らしの場づくり

- 通所授産施設「ふみだす」の基本設計図面を急遽変更(H14年)
→お風呂、身障WCにシャワー、廊下幅、活動室、看護師配置、OT配置、PT訪問リハ
- 重度重複障がいのある方の通う場が伊達に誕生(H15. 10)
- 次は、住まい(GH)があってほしい(ニーズ)・・・H16. 1. 10実現委員会
- H17.12月北海道では初の重度重複障がいのある方が利用できるグループホーム「野ぶどう」伊達に誕生 → みんな、かいんず、わたぼうしと拡大する
- 他法人が野ぶどう方式を自閉症のグループホームに運用

重度重複障がい者が利用する待望のGH「野ぶどう」 開設(17年12月)

※GHあさひでの実践が「自信」に繋がる、SKさんの後にも伊達市や近郊の後輩その家族が期待満々・・・

- 1) 新興住宅地に隣接し、土地300坪、床延面積137.5坪、定員9名・・・H30年機械浴室増築(10坪)
- 2) 全館バリアフリー、ホームエレベーター、セントラルヒーティング、32畳のLB、10畳にロッカー・車椅子用洗面台付設の居室、障がい程度に応じた多目的トイレ6つ、洗濯乾燥室10畳、36畳の2Fベランダ、車いす用苺畑、表札のニッチETC
- 3) 整備費～7,500万円(自己資金3千万、借入2.5千万、伊達市2千万円→北海道地域政策総合補助)
※追加工事と増築2回(4000万円)
- 4) 支援スタッフ→常勤世話人2名+常勤ヘルパー14名、夜間支援は2名体制、毎月避難訓練実施
- 5) ホームヘルプ支給時間～1ヶ月240時間～320時間、マン・ツー・マンの介助体制、
平日7.5時間・休日13.5時間

6) 利用者の成長と変化

①利用者8名は全員が区分6、うち重度障害者等包括支援対象者7名

②利用者の変化～笑顔と発声が増えた。意思表示が増えた。トイレでの排泄が増えた。入浴するようになった。自傷や興奮が減った。他者に対して興味関心が高まった。

2.施設整備上の課題と改善要望

(1)広い土地の確保とその取得費用が高負担

- ①車いす送迎車両の取り回しスペース
- ②世話人、生活支援員、ヘルパーの駐車スペース

※最低300坪(990㎡)必要か・・・、しかも、市街化区域に確保
野ぶどう～385坪、わたぼうし・麦わらぼうし～451坪

(2)建設費に対する施設整備費の国庫補助が不十分(費用対効果?)

- ①R2単価～定員4～10人→2580万、短期入所整備加算→1140万、
EV等設置整備加算→204万 ※全て都市部単価

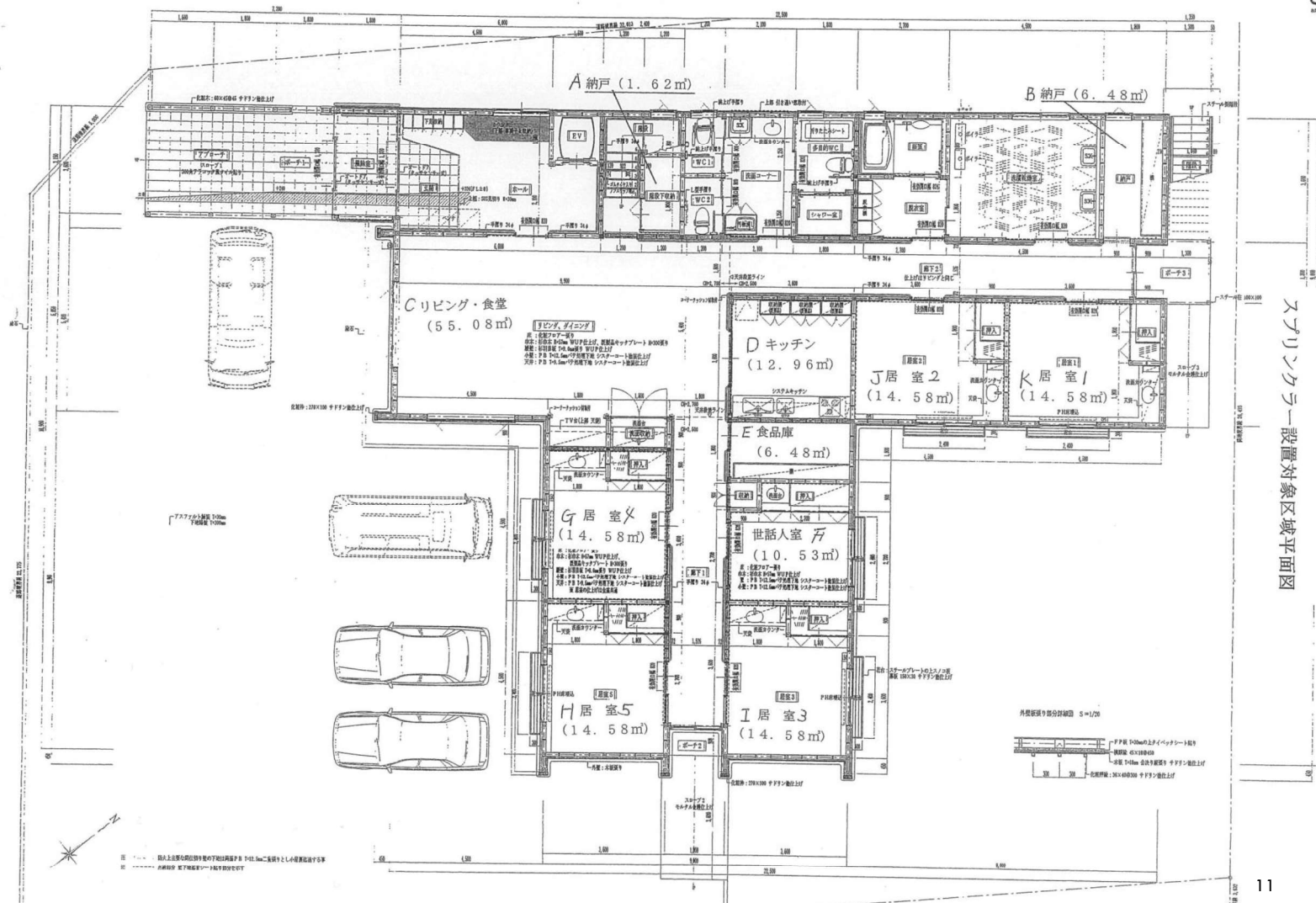
※参考～野ぶどう11500万円、麦わらぼうし～8500万、わたぼうし～7500万

② 重度重複障がいのある利用者のGHに必要な10の設備等

- 1) 玄関は広め(車いす2台に介助者2人)にとり、車いす保管室付設。
- 2) 廊下幅1.8M(車いすのすれ違い可能幅を)。
- 3) 居室は8~10畳とし車いす用洗面台を付設(両脇に介助者幅を)。
- 4) トイレには前室を備えフースは複数、さらにシャワーフースと衣類交換台。
- 5) 浴室はユニットバスと機械浴の2タイプ、脱衣所には衣類交換台(1畳)。
- 6) 洗濯乾燥室(8~10畳・洗濯機は2台以上、大型の衣類乾燥機も必要)。
- 7) 収納~居室に一間の納戸では不足、別に共用も含め広い収納室が必要。
- 8) リビング兼ダイニングは入居者の人数にもよるが健常者の2倍以上のスペースが必要(※個人単位のHHが一一人一人に付くから)。
- 9) 玄関以外の避難口からの避難路の舗装。
- 10) スプリンクラーと自動火災報知設備 およそ500万

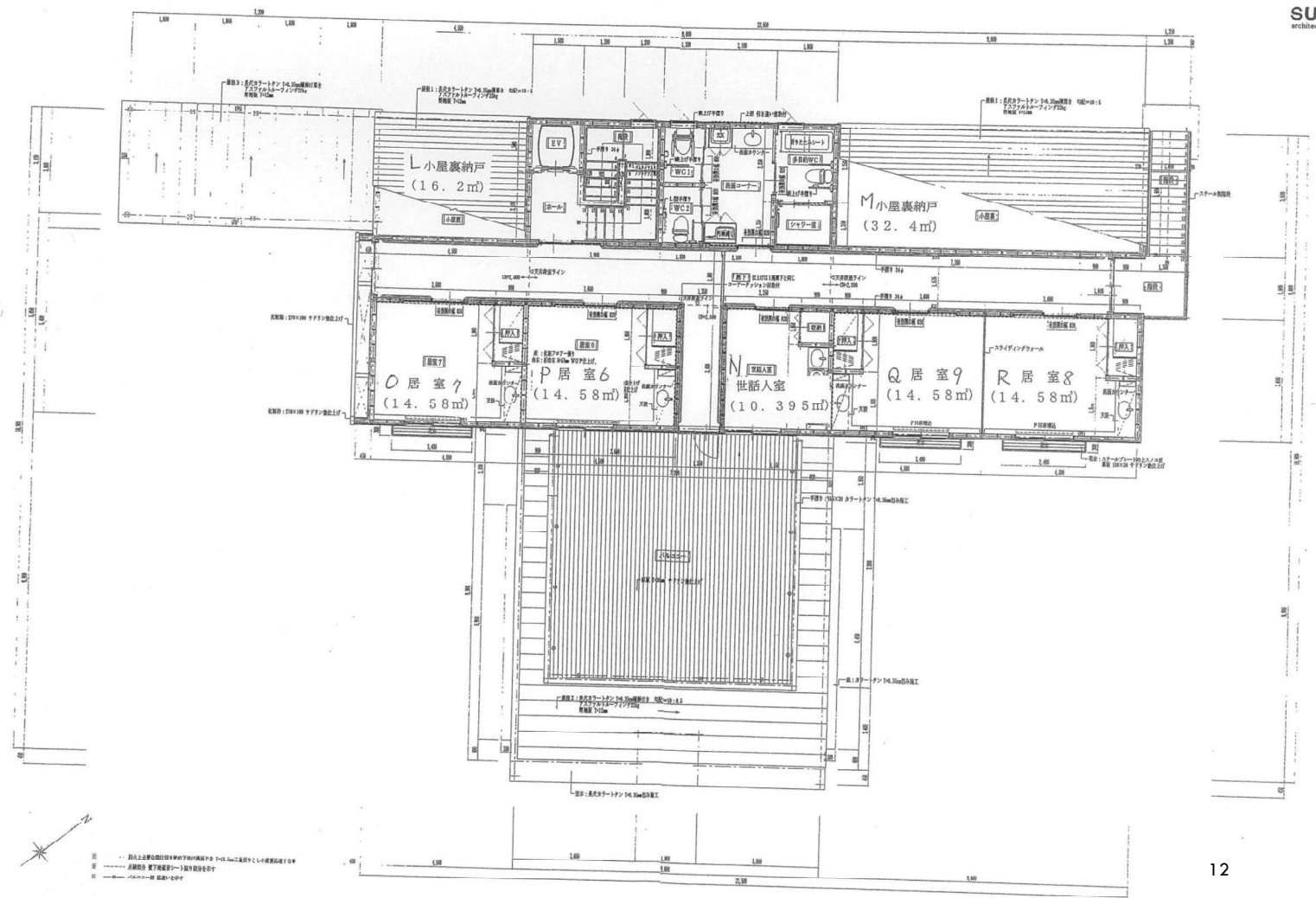
※以上の設備等を満たしていくと・・・野ぶとう(定員9)→147.5坪、
麦わらぼうし(定員7)→131坪、わたぼうし(定員5)→84坪

GH野ぶとう 平面図 1階



スプリンクラー設置対象区域平面図

GH野ぶとう 平面図 2階



施設整備上の課題に対し・・・改善要望

①バリアフリー加算の創設を！

バリアフリーというと段差解消(水平・横)をイメージするが、廊下・居室・トイレ・脱衣所・浴室・玄関等ほとんどの部屋が広めに必要。更に車いす保管室や衣類乾燥室・収納室等が必要なことから狭さがバリアになる。縦のバリアフリーとも言える。

②機械浴層・特殊浴槽整備加算の創設を！

一般的なユニットバスの他に機械浴層(500～1200万円)を整備した場合には、その設置スペースの建築費+機械浴層の整備が増えるため。